

# 一般質問の概要

平成28年第3回 二宮町議会定例会

9月14日(水) 午前9時30分～

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p><b>安心安全な教育環境の構築について問う</b> (放映件名：安心安全な教育環境の構築について問う)</p> <p>神奈川県が発表した市町村普通会計決算の概要(速報)を見ますと、経常収支比率が過去最悪となり、扶助費が過去最大となるなど、財政の硬直化が進み、地方税収は2年連続で増加しているものの、義務的経費は5年連続で地方税収を超過しているのが現状であり、各市町村とも厳しい財政状況におかれていることが認識できます。二宮町といたしましても厳しい財政状況の中ではありますが、町長の施政方針や町の総合戦略のなかに「安心安全な教育環境の構築」ということがあげられているわけで、最近の気象状況はずいぶんと変化しており、町の広報でも高温注意報が何回もアナウンスされ、室内での熱中症にも対する注意が喚起されています。天気予報で表示される気温は、体温が記載されているのかと見間違えるほどに上昇しています。愛川町では各小中学校の各教室に山北町では中学校の各教室にエアコンがこの9月より設置されました。二宮町でも子ども達の健康に留意し、学習意欲を高めるためにもエアコンを早期に設置できないものでしょうか。</p> <p>次に図書館の運営についてですが、乳幼児をお持ちの保護者の方々から「図書館に行き本を借りようと思ってもどのような本を借りたらよいかかわからず悩んでしまう。案内をしてくれたり、相談を受けてくれると利用しやすいし助かるんだが」という声を聴きます。二宮町の図書館は近隣の町の方々からもうらやまれると伺います。せっかく他の町に自慢できるものがあるわけで、利用者を一層増やし、数多くの町民の皆様方に利用していただくためにもこどものほんコーナーに年間を通し曜日時間を設定して案内者や相談員をおくことはできないものですか。また、小学生の間から学校が早く終わる月曜日に開館して欲しいとの要望もでています。そこで安心安全な教育環境を構築するうえで次の2項目について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各町立小中学校の児童生徒の健康に留意し、学習意欲を一層高めるためにも各教室のエアコン設置についての見解を伺います。</li> <li>2. 町立図書館の幅広い年齢層の町民の方々の利用者を増やすためにも月曜日の開館とこどものほんコーナーに年間を通し曜日・時間を設定し、案内者及び相談員を置くことについての見解を伺います。</li> </ol>
2	露木 佳代 議員	<p><b>「にのみや Life」全国展開シティプロモーション事業について</b> (放映件名：全国展開シティプロモーション事業について)</p> <p>二宮町総合戦略の基本目標2には「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」とあります。具体的には『人口の減少傾向を抑制するために、「二宮町に住み続けたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイル「にのみや Life」として確立し、そのプロモーション戦略を推進することで、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出します』と書かれています。</p> <p>当初は国からの地方創生加速化交付金(2千20万円)で計画されていた事業</p>

		<p>でしたが、不採択が決定し、内容を再検討した結果、県補助金で402万7千円、一般財源で314万6千円、合計717万3千円で事業を行うことになりました。そのうち702万円が業者への委託料となります。この717万円を最大限に、有効かつ継続的に活用し、今後につなげていくために、以下の要旨に沿って質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「にのみやLife」全国展開シティプロモーション事業とは何か。</li> <li>2. 業務委託をする業者の役割と「にのみや魅力発信隊」とはどういうもので、どのような役割をするのか。</li> <li>3. 来年度以降の事業費の予定、見通しは。</li> <li>4. プロモーション事業の効果測定は。</li> <li>5. プロモーション事業展開と同時にしくは展開後に何か新しい施策につなげていこうとする考えがあるか。また現状の町において事業や改善すべき点などの洗い出しは。</li> <li>6. 職員の意識改革をその後に活かすためには、管理職や町長の意識改革も不可欠である。職員提案制度を導入するなど、職員の士気を継続していく方法をどう考えているか。</li> </ol>
3	野地洋正 議員	<p><b>公共施設再配置・町有地有効活用検討事業の進捗及び今後の予定について</b> <b>(放映件名：進捗・動きに注視！公共施設再配置)</b></p> <p>将来の町の人口、行政、町民活動、福祉、コミュニティなど、町のあり方、私たちの生活に直結する公共施設再配置・町有地有効活用等検討事業は、公共施設のあるべき姿を示し、「総量の削減」、「質」の見直しを進め、統廃合や複合化によりコンパクトシティの形成を図るとともに、町有地の有効活用も含め、基本方針及び実施計画を策定することを目的として着々と進められていることと思う。</p> <p>今年度は、短・中・長期的計画、民間活用の手法などを整理、町としての基本方針を示し、シンボリック事業の位置づけ、今後10年程度の事業計画素案を作成する、29年度は、その案を基に町民意見を集約、反映し計画書を作成し、30年度からの事業計画につなげていくとされている。</p> <p>1,800万円を投じる重要かつ難題とされるこの事業を意義のあるものとするには、継続的に町民への経過報告、説明、そして意見聴取を丁寧に行っていかなければならない。</p> <p>したがって、第2回議会定例会に引き続き、同事業について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業の進捗、今後の予定</li> <li>2. 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会の役割、責務</li> <li>3. 公共施設再配置による町のあり方、将来像</li> </ol>

4	渡辺訓任 議員	<p><b>大磯恒道会の施設運営と町介護施設の整備促進について</b> (放映件名：大磯恒道会運営と介護施設整備について)</p> <p>社会福祉法人恒道会が運営する地域密着型老人福祉施設である「もとまちの家」で1ユニットが閉鎖される方針が出された後、閉鎖方針が撤回された。閉鎖の理由は利用者に安全かつ十分なサービスを提供する体制が取れないというものであったが、急な方針変更で関係者に戸惑いがおきている。二宮町議会においても、恒道会の運営については改善の請願を採択し、一般質問でも取り上げられているが、今回の件はその後の改善について疑問を感じさせるものである。現在の施設介護の利用者、施設介護を希望されている方々、そして町にとって、現在と将来の定員と安心できる質の確保は切実な問題である。恒道会運営施設の現状と町の取組みとともに、介護福祉計画にうたう施設介護の見通しと確保について町の考えを問う。</p> <p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. もとまちの家の1ユニット閉鎖とこゆるぎの里との統合について、当初の連絡から撤回に至るまでの経緯はどのようなものであったか。</li> <li>2. もとまちの家、かわわの家が提供しているサービスおよび恒道会の施設運営について町はどのように評価をしているか。</li> <li>3. 第6次介護保険計画の地域密着型介護老人福祉施設・保健施設のサービスの来年度および将来の見通しはどうか。</li> <li>4. 公共施設再配置・町有地有効活用の中で、老人福祉施設・老人保健施設などの介護施設の設置・誘致について検討をしているか。</li> </ol>
---	------------	---